

令和5年度 芸術科 音楽Ⅱ シラバス

科目	単位	履修学年	区分	教科書(出版社)
音楽Ⅱ	2	2年	選択	Tutti+ (教育出版)

1 「音楽Ⅱ」の目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 授業の内容

〔表現〕表現に関して、次の事項を指導する。

- (1) 歌唱
ア 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて理解し、イメージをもって歌うこと。イ 曲種に応じた発声の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して歌うこと。ウ 様々な表現形態による歌唱の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して歌うこと。エ 音楽を形作っている要素とそれらの働きを理解して歌うこと。
- (2) 器楽
ア 曲想を楽曲の背景とかかわらせて理解し、イメージをもって演奏すること。イ 楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して演奏すること。ウ 様々な表現形態による器楽の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して演奏すること。エ 音楽を形作っている要素とそれらの働きを理解して演奏すること。
- (3) 創作
ア 音階を選んで旋律をつくり、その旋律に副次的な旋律や和音などをつけて、イメージをもって創造的に音楽をつくること。イ 音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成を工夫して、イメージをもって創造的に音楽をつくること。ウ 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、イメージをもって創造的に変奏や編曲をすること。エ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して音楽をつくること。
- 〔鑑賞〕鑑賞に関して、次の事項を指導する。
ア 声や楽器の音色の特性と表現上の効果とのかかわりを理解して鑑賞すること。イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して鑑賞すること。
ウ 楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴について理解を深めて鑑賞すること。エ 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めて鑑賞すること。

3 授業方法・形態

一斉授業(2時間連続)、講義、教科書を用いながら、適宜、副教材等を取り入れ、生徒の理解力、表現力の向上を図る。

4 評価規準・評価方法 ※次の4つの観点から評価を行う。

評価の観点	趣旨(到達目標)	評価方法
1 音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	◇聞く(聴く)態度 ◇学習意欲(発言・積極性) ◇ワークシート・課題 ■定期考査(筆記試験)
2 音楽表現の創意工夫	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現を工夫し、表現意図を持っている。	◇学習活動の様子 ◇ワークシート・自己評価表 ■実技試験(独唱、独奏)
3 音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、創造的に表現している。	◇実技課題進捗状況 ◇学習活動の様子 ■作曲
4 鑑賞の能力	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	◇ワークシート ■定期考査

5 年間指導計画

月	時数	題材名	題材のねらい	主な教材	主な指導内容
4	12	歌詞の内容を理解して、表情豊かに独唱曲を歌おう	姿勢や発声に意識を向けるとともに、歌詞の内容を理解してイメージをもって歌う。	ハナミズキ/浜辺の歌/Nel cor piu non mi sento 他	・姿勢や身体の使い方、呼吸法、共鳴の様子など ・曲想と歌詞の言葉の意味、歌詞が表す情景や心情などのかかわり ・歌と伴奏それぞれの役割
	12	ギターの弾き歌いに挑戦しよう	ギターの音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫しながら演奏する。また、弾き歌いに挑戦する。	愛のロマンス/ていんさぐぬ花 他	・ギターの音色や奏法の特徴 ・ギターの特徴、楽曲のリズム、フレーズのまとまり、和音や和声などによって生み出される曲想を生かした表現 ・弾き歌い
5	9	我が国や郷土の音楽に親しもう	三線や和楽器にチャレンジして音楽表現の幅を広げる。また、音色や奏法に工夫を凝らしながら楽しむ。	日本の伝統音楽、郷土の伝統芸能など	・三線、太鼓などの和楽器の特徴と基本的な奏法 ・語の発声の特徴を生かした表現 ・我が国や郷土の伝統音楽の特徴と文化的・歴史的背景
7	8	ボディーパーカッションやリズムを楽しもう	ボディーパーカッションで様々なリズムの表現活動を行い、その経験を生かしながら音楽を作ることの喜びを味わう。	ソルフェージュリズム編	・リズムの読譜や記譜の方法 ・ボディーパーカッションによるリズム・アンサンブル
9	14	楽器の音色と表現上の効果を楽しもう	ピアノやギターの音色や作品の特徴と表現上の効果とのかかわりを知覚し、主体的に鑑賞する。	バロック時代、印象主義の音楽	・ピアノの音色の特徴と表現上の効果とのかかわり ・言語活動を伴った批評
11	14	コーラスやヴォーカルアンサンブルで美しい響きを追求しよう	重唱や合唱における各声部の役割や声部間のバランスを理解するとともに、楽曲にふさわしい表現やよりよい響きを追求することにより、アンサンブルを楽しむ。	上を向いて歩こう/赤とんぼ/心の瞳 他	・各声部の役割や、声部間のバランスと調和 ・曲想と歌詞の言葉の意味や歌詞が表す情景や心情とのかかわり
1	6	オペラやミュージカルを楽しもう	オペラやミュージカルの表現形態や特徴を理解して、舞台作品を歌う喜びや鑑賞する楽しさを味わう。	夢やぶれて/Amazing Grace 他	・曲種による発声の違い、言葉のリズム、旋律などの特徴 ・総合的な芸術表現における音楽的な要素とそれ以外の要素とのかかわり
2		まとめと反省	これまでの学習活動を振り返り、自己評価を行う。	卒業の歌/合唱曲	・音楽を形作っている要素の知覚とそれらの働きを感じて表現する
3					